

冒頭に、今ほど、「黙とう」を行いました。4月14日に発生をしました「熊本の地震災害」について、九州各地で甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げたいと思います。同時に、一日も早い復旧、復興に向けた取り組みを行っていききたいと思います。今日は、皆さんに支援のカンパをお願いしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

そして、東日本大震災から5年が経過をしました。今なお、多くの方々が県内外に避難生活を余儀なくされ、山形県内にも3,300人ほどの皆さんが避難している状況にあります。震災の教訓を「風化」させることなく、一日も早い復旧・復興、そして再生に向けた、支援の取り組みを行っていききたいと思います。

二つは、今年の春闘の取り組みについてであります。大手の労働組合は、3月16日など交渉山場を終えましたが、4月12日時点の連合本部集計では、定期昇給込みの平均賃上げ方式で約6,000円の賃上げとなっています。3年連続しての賃上げとなりましたが、昨年同時期に比べて約600円ほどマイナスとなっています。

県内的には、連合傘下の賃上げ対象民間組合は180組合ほどありまして、これまで交渉を終えて妥結した組合もありますが、5月中旬位まで引き続き、交渉継続の組合も多くありますので、連携しながら取り組みを行っていききたいと思います。

特に、県内的には中小企業が殆どでありますので、大企業と中小企業の格差解消、さらには、この2年間の春闘で賃金は若干上がったものの、物価上昇などから実質賃金は4年連続して下がっているわけでありまして、しっかり賃上げを求めていききたいと思います。

同時に働く者全体の底上げに向けた最低賃金の引上げについてであります。今連合山形として最賃引上げに向けた署名運動を行っていますが、県内は696円でありまして、年間2,000時間働いても年収は139万円であり、とても、「健康で文化的な生活には程遠い」わけでありまして。大都市と地方の格差解消や人材確保の観点からも最低賃金の引上げに向けて取り組んでいききたいと思います。

三つは、参議院選挙の取り組みについてであります。今日は舟山やすえさんおいで頂きました。安倍政権は、「1億総活躍社会」とか「同一労働同一賃金」など、調子のいいことを言っていますが、私たち働く者にとっては、昨年秋の国会で、多くの国民の反対の声を全く無視して、一生涯派遣労働・低賃金の固定化につながる労働者派遣法を改悪をしました。

そして、多くの憲法学者が憲法違反と指摘し、立憲主義に反する形での安全保障関連法について採決を強行しました。こうした安倍政権の暴走に歯止めをかけるかということというのが一つの課題になるんだろうと思います。

参議員選挙二つ目の課題は、アベノミクスの「3本の矢」という経済政策がもたらしたものは、結果として、円安と株高であります。これで潤ったのは、一部の輸出大企業と富裕層のみであり、中小企業や地方、さらには勤労国民には波及効果は無かったわけでありまして。まさに、トリクルダウンは機能しなかったということであり、それどころか、むしろ、大企業と中小企業、大都市と地方、正規労働者と非正規労働者など益々格差や貧困問題は、拡大するばかりであります。

だからこそ、今、あらゆる格差と貧困問題を解消すべく、そして、地方と中小企業を元気にすべく経済政策と社会保障制度が重要なんだろうと思います。

皆さん。そのためには、この、山形の地から、山形の地から、日本の政治を変えるために「若さと行動力・即戦力」としての舟山やすえさんに期待しようではありませんか。そして、今日から新たなスタートです。是非、皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

以上、申し上げながら挨拶にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。